

参考資料 美乃坂本駅周辺の現状整理等

「道路の移動円滑化等整備ガイドライン（財団法人 国土技術研究センター）」に基づき、概ねの徒歩圏を1 kmと設定し、美乃坂本駅（既設）の現状を整理する。

1. 人口・高齢者・障害者等の状況

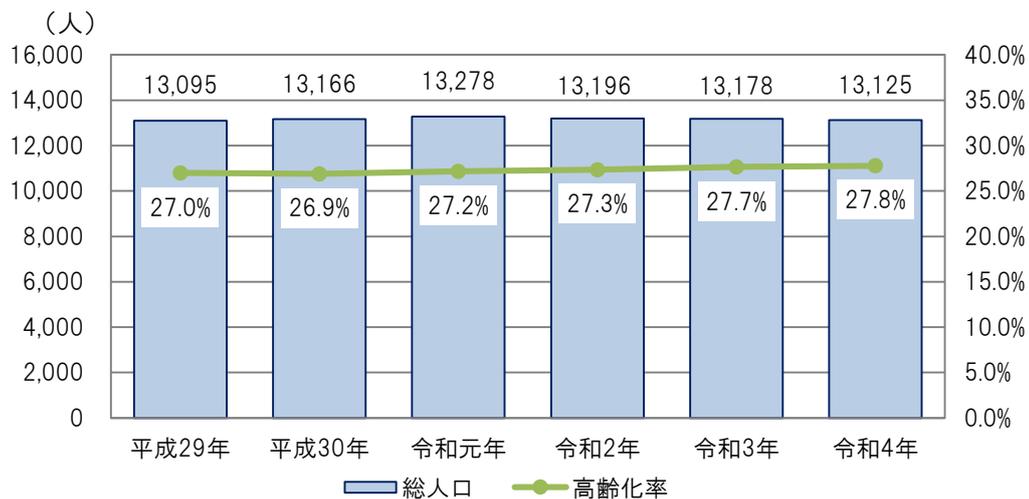
(1) 人口・高齢者等の状況

坂本地区の人口は約13,000人となっており、平成29年以降、横ばい傾向にある。一方で、高齢化率は微増が続いており、令和4年時点で高齢化率は27.8%となっている。

美乃坂本駅周辺の人口分布では、徒歩圏内に一団で人口が集積している場所はなく、陽光台などの住宅地において局所的に人口が集積している場所はあるが、徒歩圏内のメッシュのほとんどが20人未満となっている。

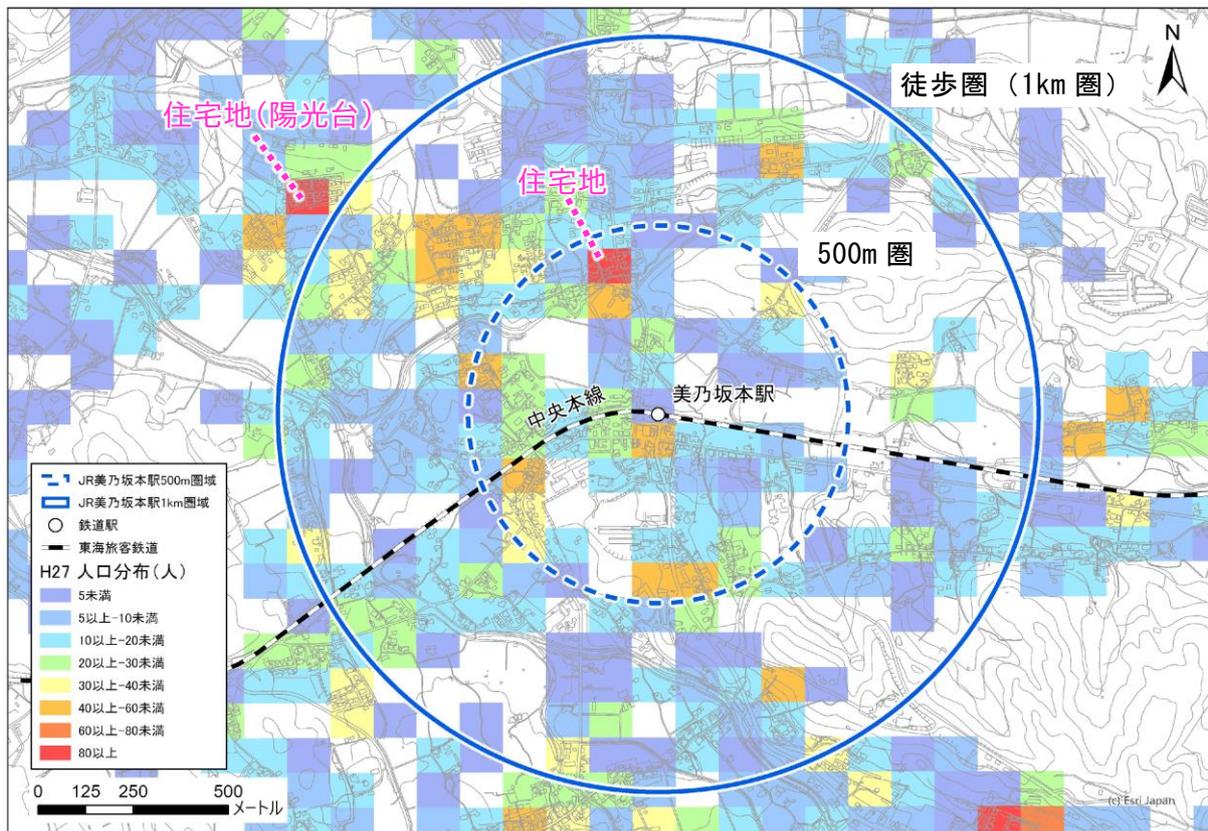
高齢者の人口分布は、前述の人口分布と概ね同様の分布傾向となっている。メッシュごとの高齢化率では、リニア岐阜県駅予定地の東側で高齢化率が20%未満と低い地域もみられるが、概ね20%を上回っており、リニア岐阜県駅予定地の北側では30%を上回る地域も見られる。

これらより、リニア岐阜県駅周辺に人口が点在する中、高齢化が進行している状況であり、高齢者に配慮した歩行環境への改善が求められる。



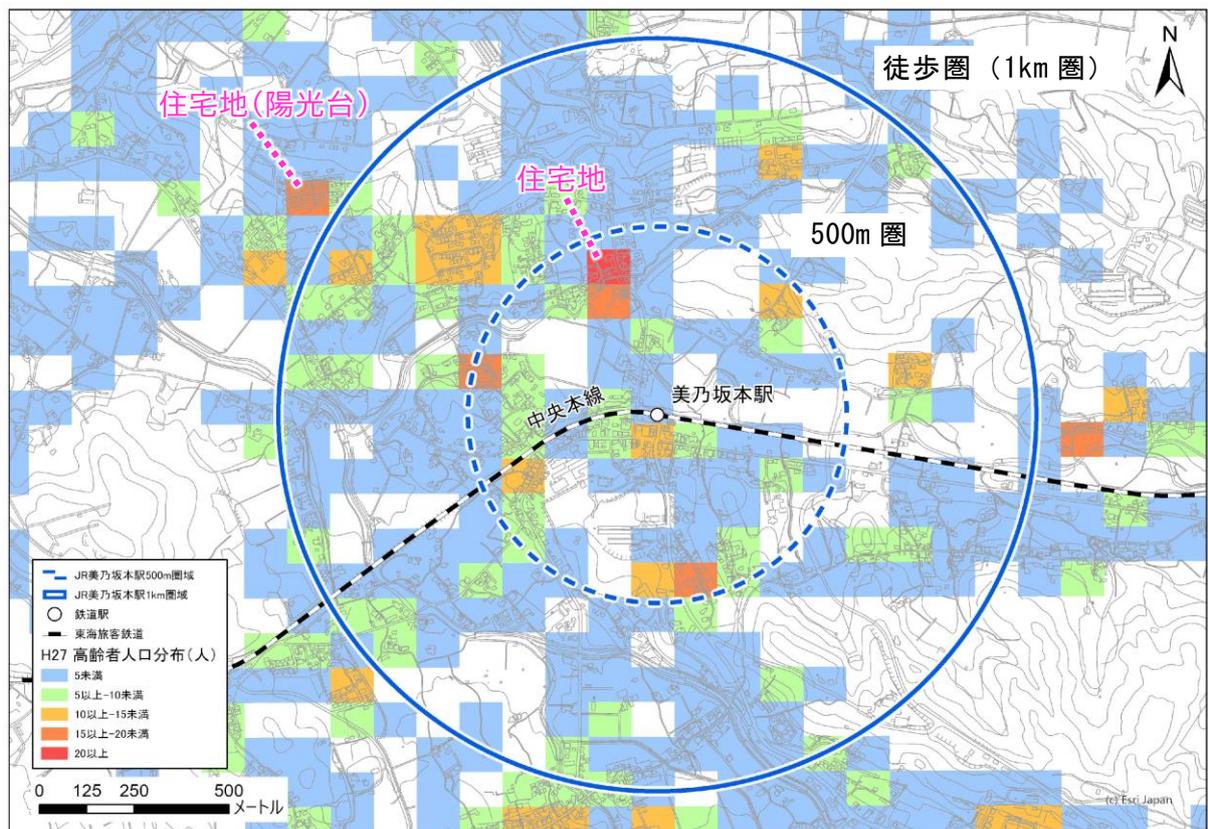
資料：市提供資料

■坂本地区の人口と高齢化率の推移



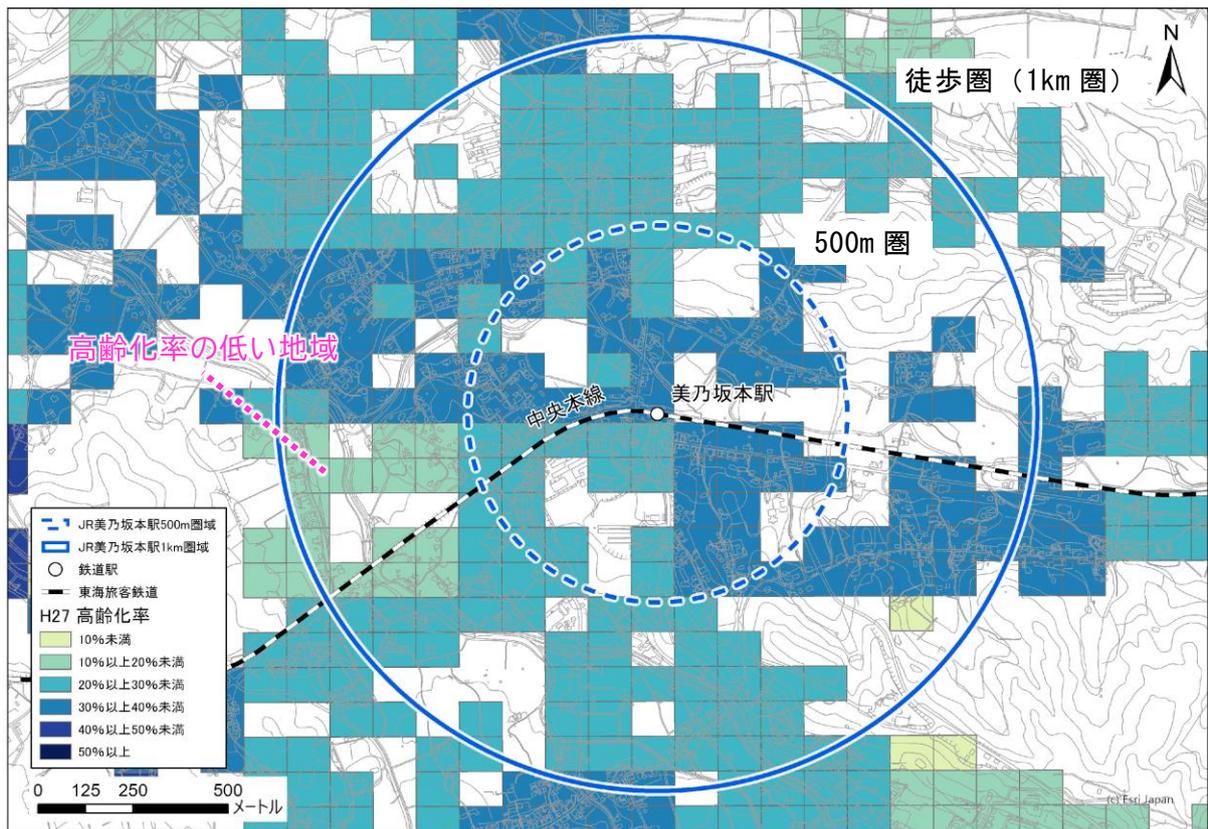
資料：平成 27 年国勢調査

■美乃坂本駅周辺の人口分布



資料：平成 27 年国勢調査

■美乃坂本駅周辺の高齢者人口の分布



資料：平成 27 年国勢調査

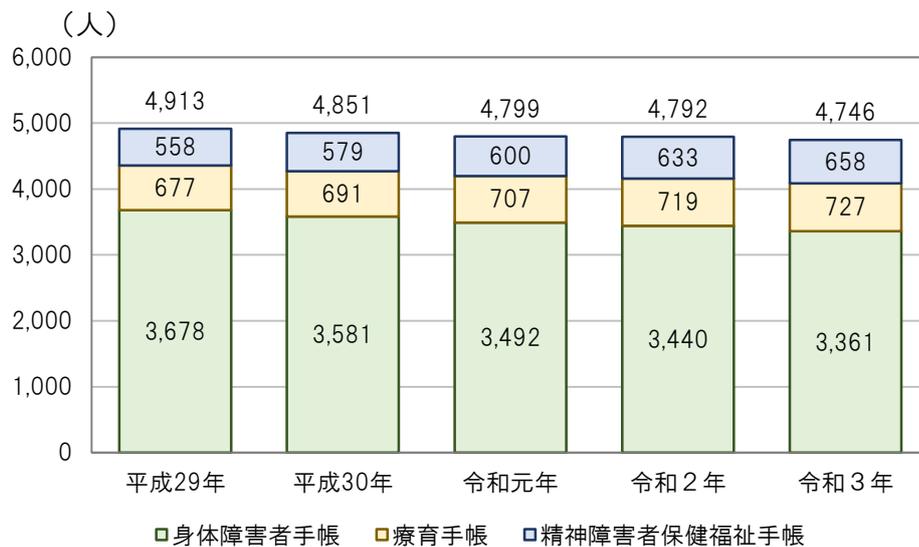
■美乃坂本駅周辺の高齢化率

(2) 障害者の状況

市内の障害者手帳所持者数は減少傾向にあるが、減少しているのは身体障害者手帳所持者であり、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者数は増加傾向にある。

障害者手帳所持者の内訳として、身体障害者手帳所持者の比率が最も大きいですが、近年の身体障害者手帳所持者の減少、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の増加から、減少傾向にある。

そのため、バリアフリー化の検討では、身体に関するバリアに対する検討だけでなく、心身両方に関するバリアに対する検討の重要性が増加していると考えられる。



資料：令和3年度版中津川市統計書

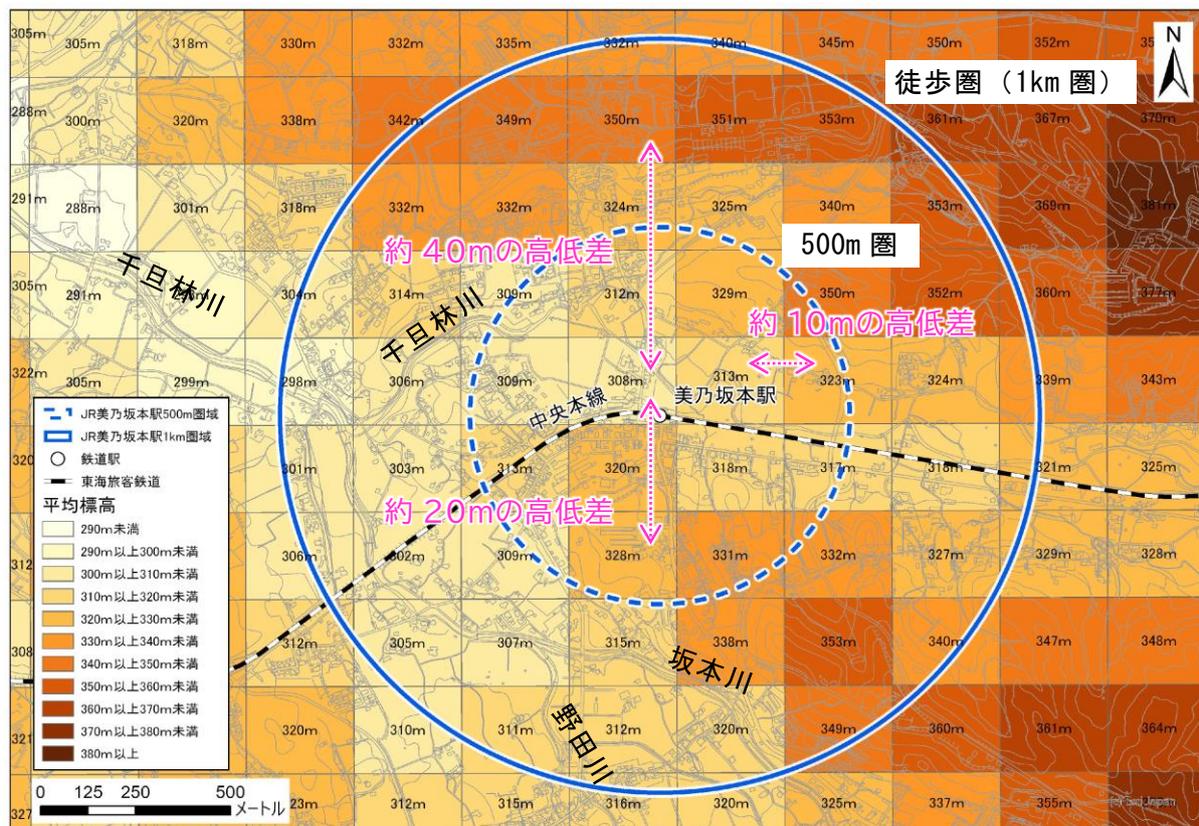
■中津川市の障害者手帳所持者数の推移

2. 標高・土地利用・建物用途の状況

(1) 標高の状況

美乃坂本駅周辺の標高について、下図は 250mメッシュの平均標高を可視化したものとなっており、徒歩圏内で最大約 60mの高低差が確認される。駅を中心とした高低差では、予定地付近の標高は約 310mとなっているが、北側と約 40m、南側と約 20mの高低差があり、南北方向に大きな高低差が確認できる。また、東西方向については比較的緩やかな高低差となっているが、一部で隣接するメッシュ間で約 10mの高低差が確認される。

なお、下図は平均標高を整理したものであり、実際は地形により、さらに急勾配な斜面の存在も想定される。



資料：国土数値情報ダウンロードサービス

■ 美乃坂本駅周辺の標高

留意点：勾配

- ・車椅子使用者が自力で登坂できる勾配は、1/12以下である。
- ・1/12の勾配は国際シンボルマークの設置基準である。
- ・IPC（国際パラリンピック委員会）のアクセシビリティガイドにおける屋外傾斜路の勾配のベストプラクティス（最良慣行、最善事例）は、1/20以下である。

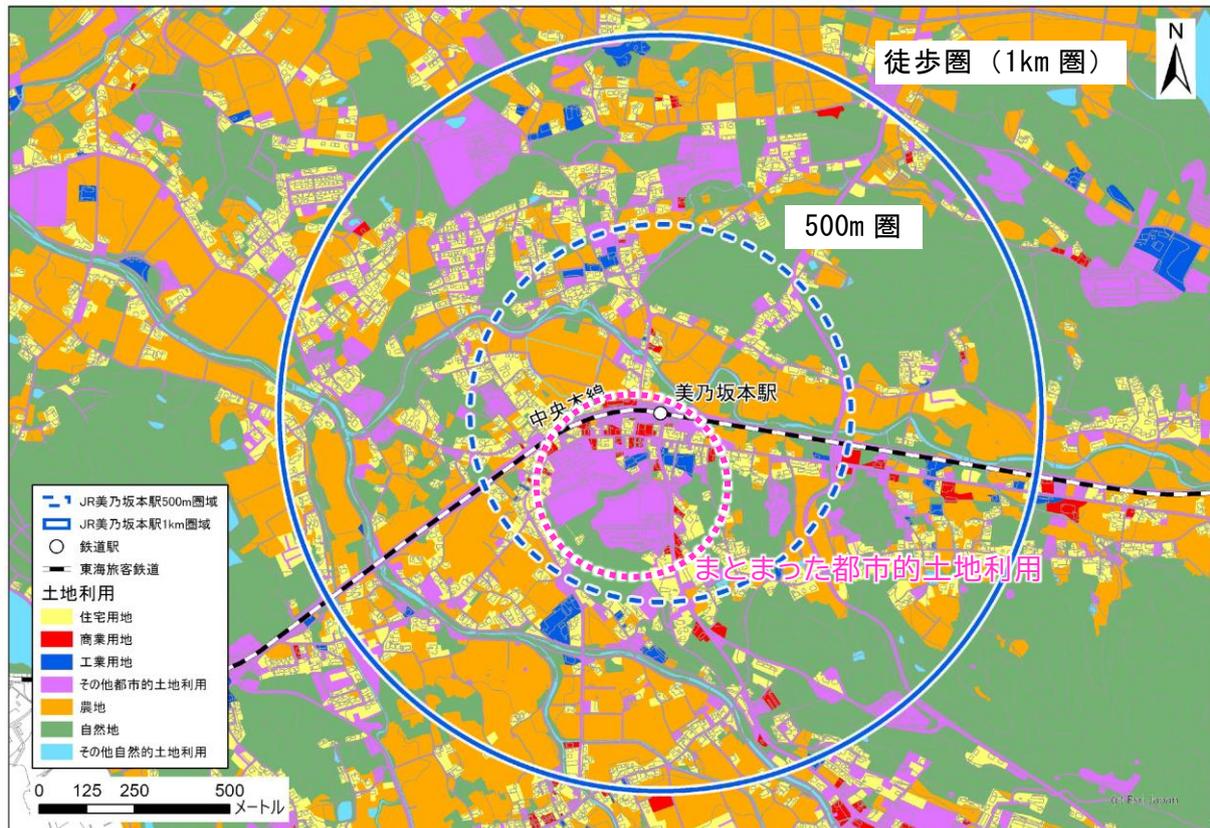
資料：高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準

■ 車椅子使用者の自力登坂勾配の参考

(2)土地利用の状況

美乃坂本駅周辺の土地利用の状況について、「住宅用地」がまばらに存在する状況となっており、多くが「農地」や「自然地」となっている。

美乃坂本駅周辺では、まとまった「商業利用」や「その他都市的土地利用」が見られ、この「その他都市的土地利用」は坂本小学校、坂本中学校などの施設用地となっている。



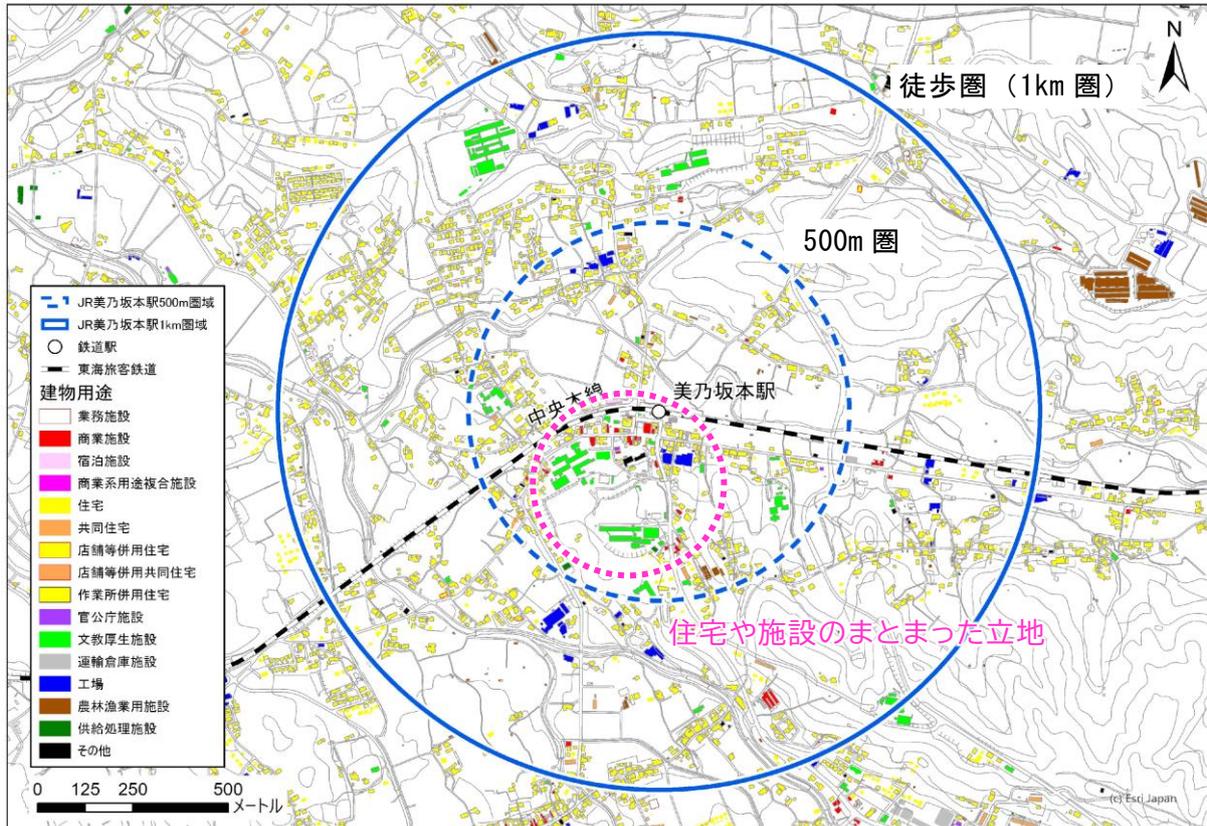
資料：都市計画基礎調査（H30）

■美乃坂本駅周辺の土地利用現況

(3) 建物用途の状況

美乃坂本駅周辺の建物用途現況について、JR中央本線北側は住宅が立地しており、まとまった住宅地も一部見られるが、多くはまばらに立地している状況となっており、住宅以外の建物はあまり見られない状況となっている。

美乃坂本駅南側には、駅施設に加え、住宅や商業施設、文教厚生施設がまとまって立地している。



資料：都市計画基礎調査（H30）

■美乃坂本駅周辺の建物用途現況

3. 不特定多数の人が利用する生活関連施設（候補）の立地状況

（1）生活関連施設（候補）の整理

「移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン（国土交通省）」では、常に多数の人が利用する施設、高齢者、障害者等の利用が多い施設を考慮した上で生活関連施設を選定することとしており、想定される生活関連施設（次ページ参照）を掲載している。

生活関連施設の検討に向け、美乃坂本駅周辺的生活関連施設（候補）の立地状況を整理する。美乃坂本駅に立地する生活関連施設（候補）は下表の施設となっている。

また、参考として、美乃坂本駅周辺に立地しない生活関連施設（候補）の一部について、徒歩圏（1km）よりも広い範囲で立地状況を整理する。

表 美乃坂本駅周辺に立地する生活関連施設（候補）

| 区分 | 種類 |
|---------------|--------------|
| (1)官公庁等 | 地域事務所 |
| | 郵便局、銀行等 |
| | 交番 |
| (2)教育・文化施設等 | 学校(小・中・高等学校) |
| | 公民館 |
| (3)保険・医療・福祉施設 | 医療施設 |
| | 福祉施設 |
| (4)その他の施設 | 葬祭場 |
| | 路外駐車場 |

表 (参考) ガイドラインに記載されている「想定される生活関連施設」

| 区分 | 種類 |
|------------|------------------------|
| 官公庁等 | 都道府県庁、市役所・区役所、役場 |
| | 郵便局、銀行、ATM |
| | 警察署(交番を含む)、裁判所 |
| | 市民・地区センター、コミュニティーセンター等 |
| | 都道府県税事務所、税務署 |
| 教育・文化施設等 | 図書館 |
| | 市民会館、市民ホール、文化ホール |
| | 学校(小・中・高等学校) |
| | 公民館 |
| | 博物館・美術館・音楽館、資料館 |
| 保険・医療・福祉施設 | 病院・診療所 |
| | 総合福祉施設、老人・障害者福祉施設等 |
| 商業施設 | 大規模小売店舗等 |
| | 商店街等(地下街を含む) |
| 宿泊施設 | ビジネスホテル、シティホテル等 |
| 公園・運動施設 | 公園 |
| | 体育館・武道館その他屋内施設 |
| その他の施設 | 結婚式場、葬祭場等冠婚葬祭に関わる施設 |
| | 観光施設 |
| | 路外駐車場 |

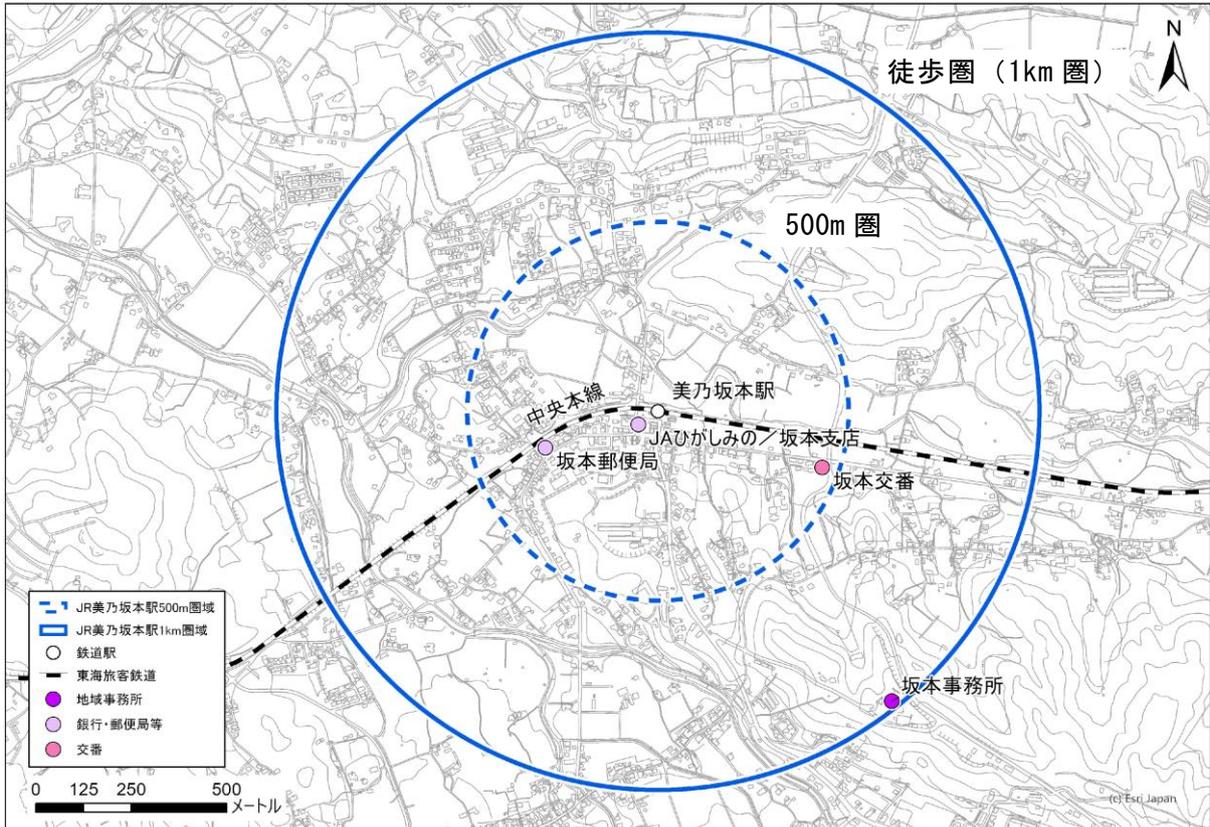
資料：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン

(2) 生活関連施設（候補）の立地状況

①官公庁等

美乃坂本駅周辺には、県や市の庁舎や警察署等の規模の大きい施設は立地しておらず、地方事務所である坂本事務所や坂本交番が立地している。

また、銀行・郵便局等の施設として、美乃坂本駅周辺には、坂本郵便局やJAひがしみの／坂本支店が立地している。



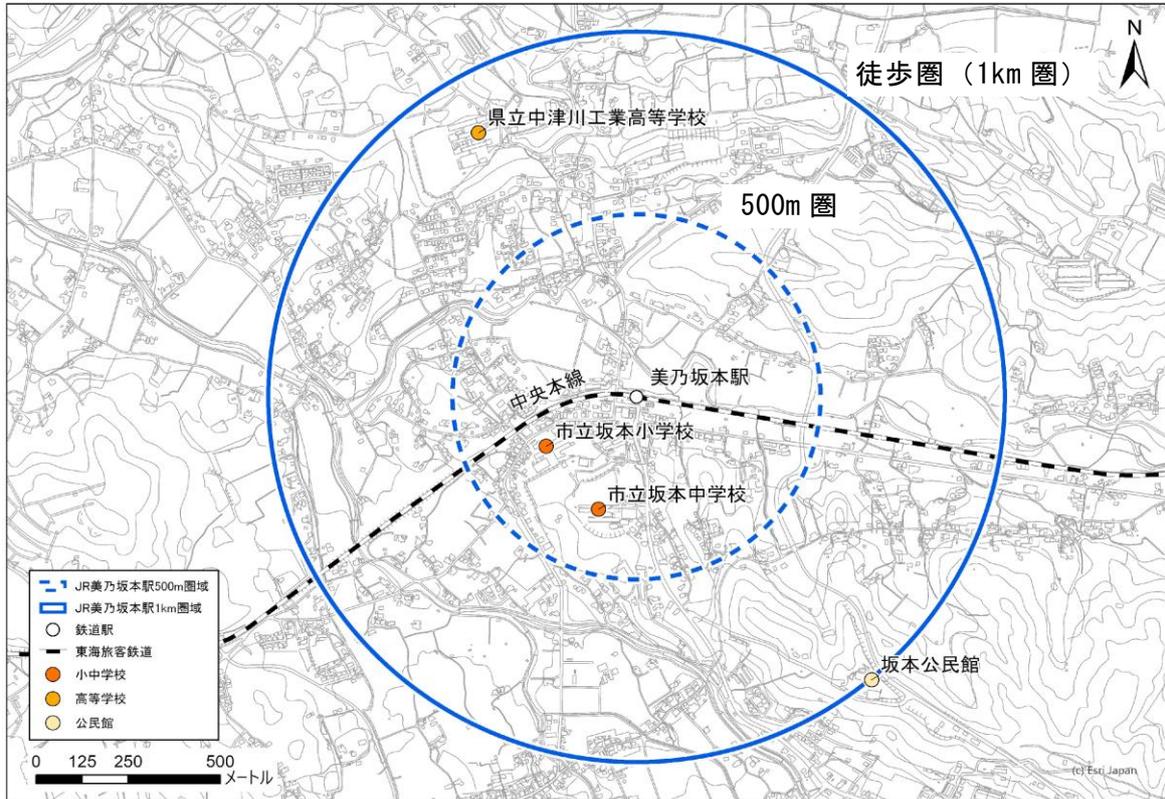
資料：市提供資料

■美乃坂本駅周辺の官公庁等

②教育・文化施設等

美乃坂本駅周辺には、1km 圏内に市立坂本小学校、市立坂本中学校、県立中津川工業高等学校が立地している。

また、官公庁等で整理した坂本事務所と併設して、坂本公民館が立地している。



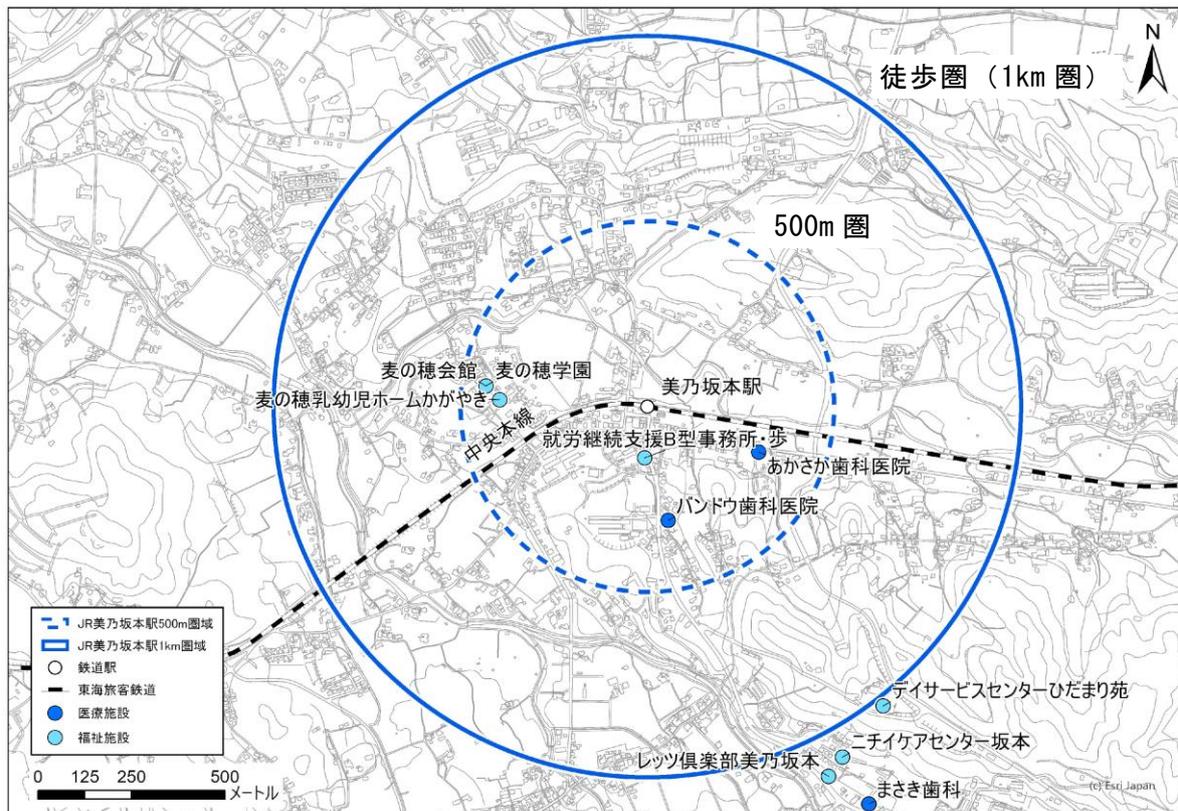
資料：市提供資料

■美乃坂本駅周辺の教育・文化施設等

③保健・医療・福祉施設

美乃坂本駅周辺には医療施設が立地しているものの、診療科は歯科のみとなっており、内科外科を診療する医療施設は立地していない。

美乃坂本駅周辺には福祉施設も複数立地しており、高齢者福祉に関する施設だけでなく、乳幼児に関する福祉施設や障害者福祉施設等も立地している。

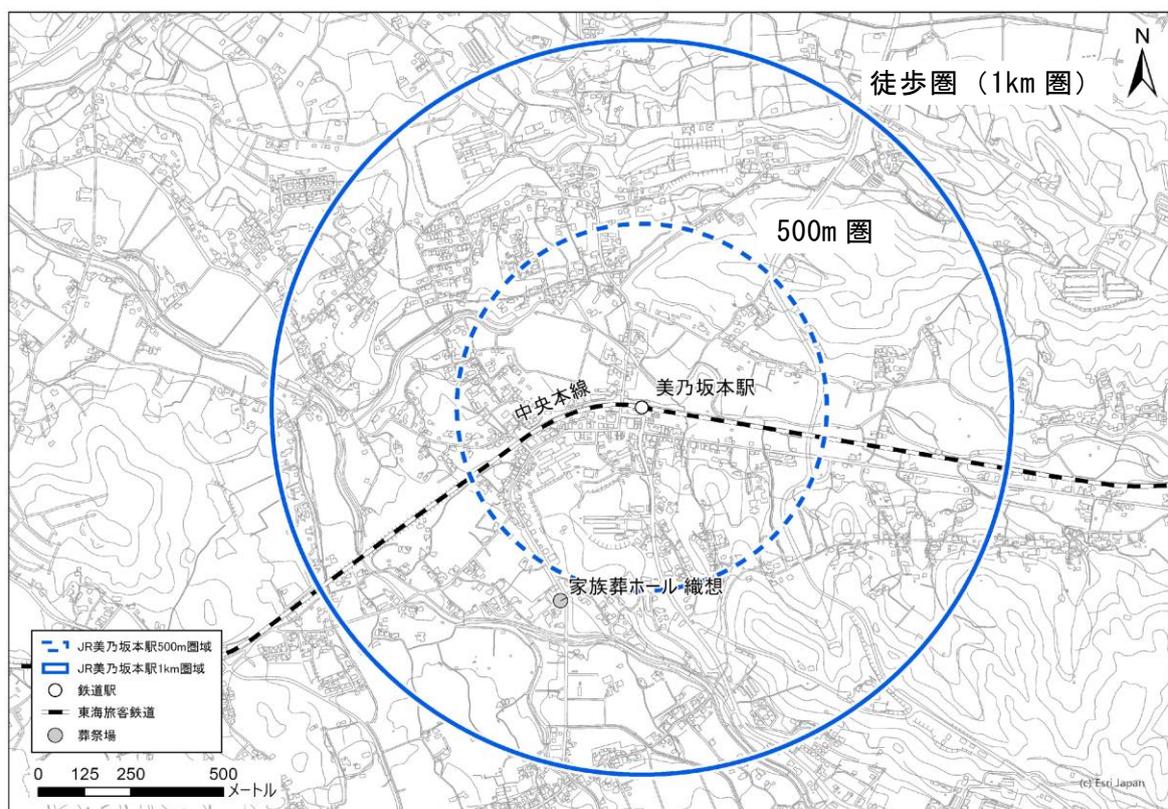


資料：市提供資料

■美乃坂本駅周辺の保健・医療・福祉施設

④その他の施設

美乃坂本駅周辺には葬祭場が立地しているものの、結婚式場や観光施設等は立地していない。

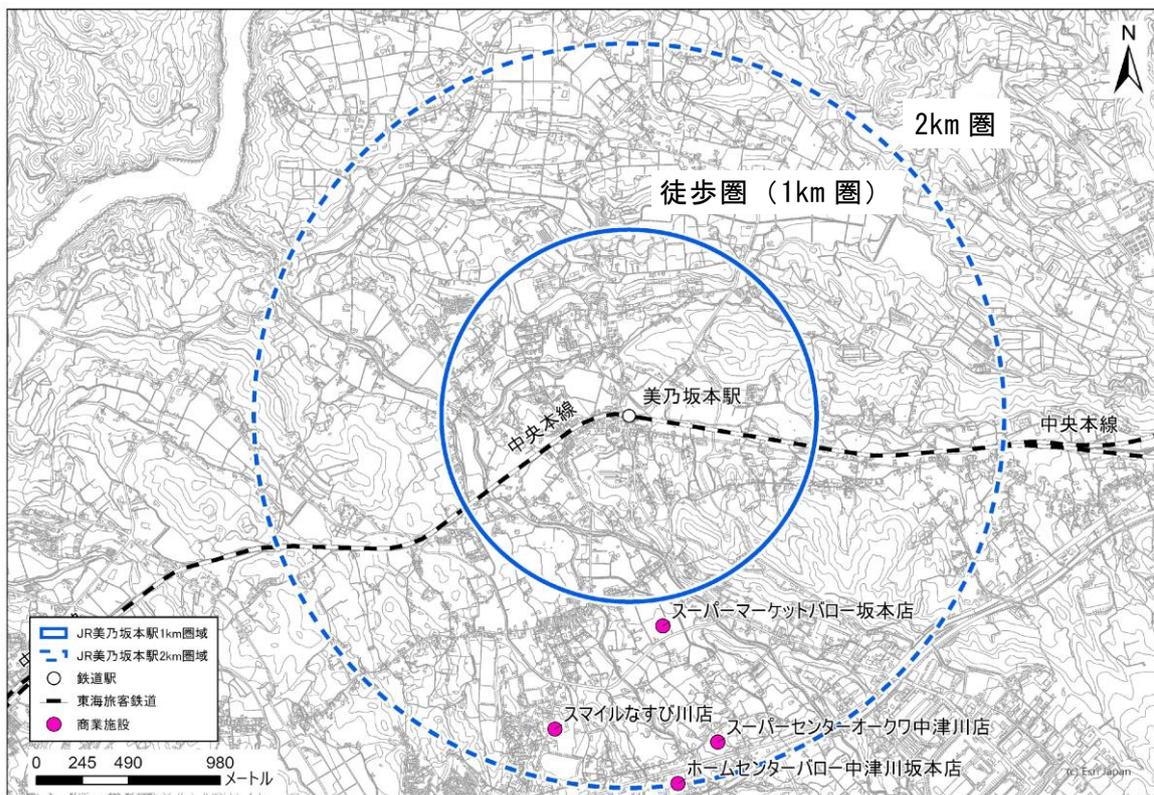


資料：市提供資料

■美乃坂本駅周辺のその他の施設

(参考) 商業施設

美乃坂本駅周辺に大規模小売店舗や商店街等の商業施設は立地していない。
下図に参考として、より広域における大規模小売店舗の立地状況を整理する。
概ね 2km 圏に大規模小売店舗が複数立地しており、駅の南部に固まって立地して
いる。



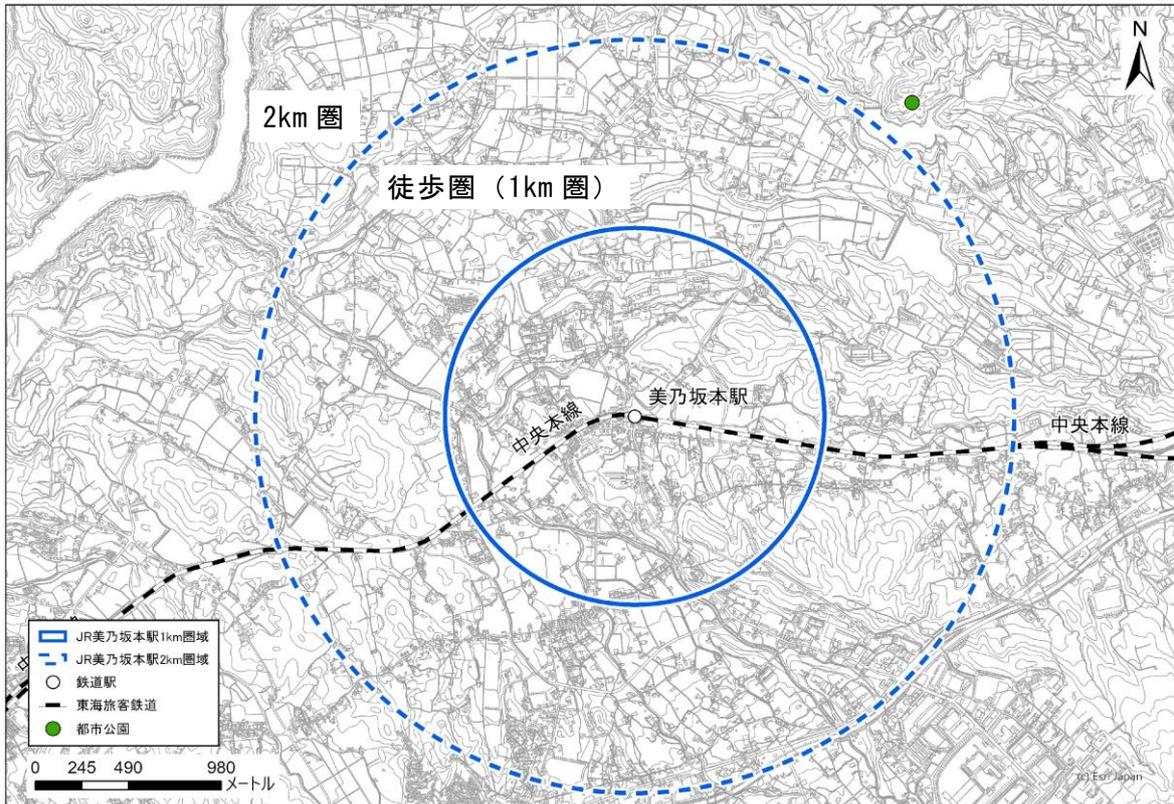
資料：市提供資料

■美乃坂本駅周辺の商業施設

(参考) 宿泊施設

美乃坂本駅周辺にビジネスホテルやシティホテル等の宿泊施設は立地していない。
下図に参考として、より広域における宿泊施設の立地状況を整理する。

ビジネスホテルやシティホテル以外の宿泊可能な最寄りの施設は、駅から北西側の星ヶ見公園に隣接する星ヶ見荘（旅館）及び星がみの杜（グランピング施設）となっている。

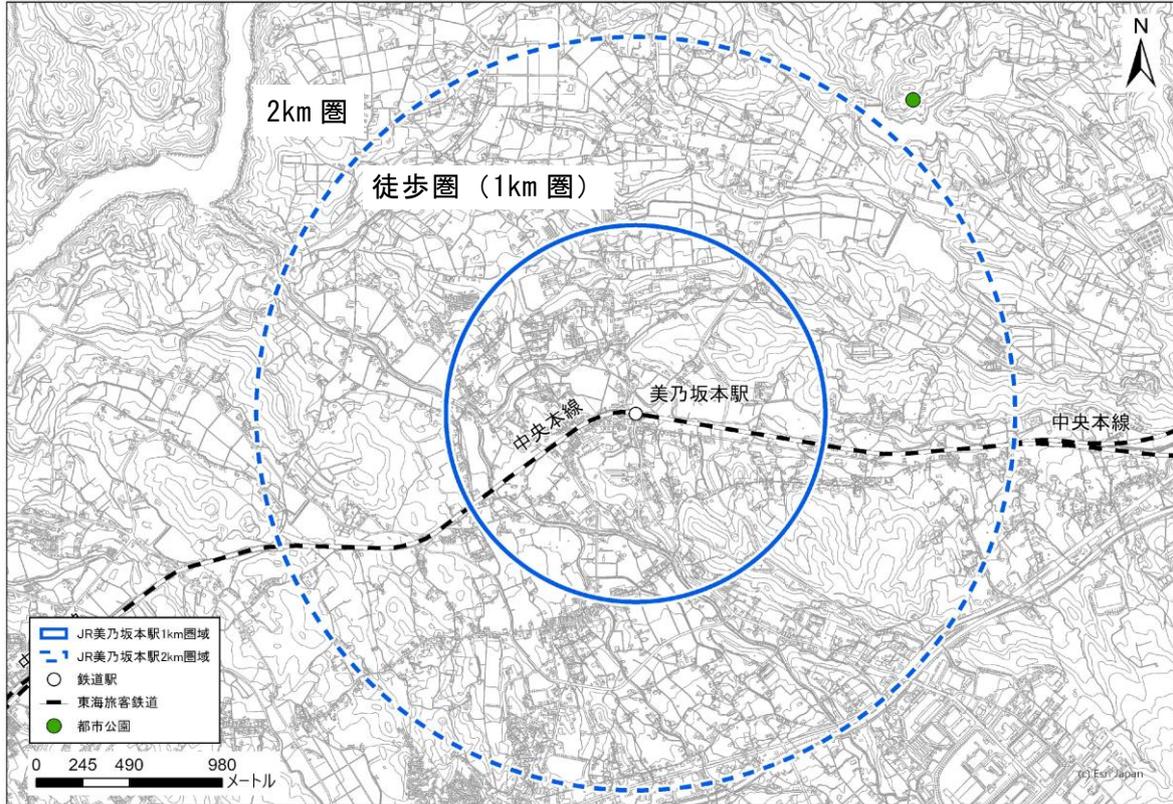


資料：市提供資料

■美乃坂本駅周辺の宿泊施設

(参考) 公園・運動施設

美乃坂本駅周辺に都市公園や体育館等の公園・運動施設は立地していない。
下図に参考として、より広域における都市公園の立地状況を整理する。
駅から2km以上離れた北西側に星ヶ見公園が整備されている。



資料：市提供資料

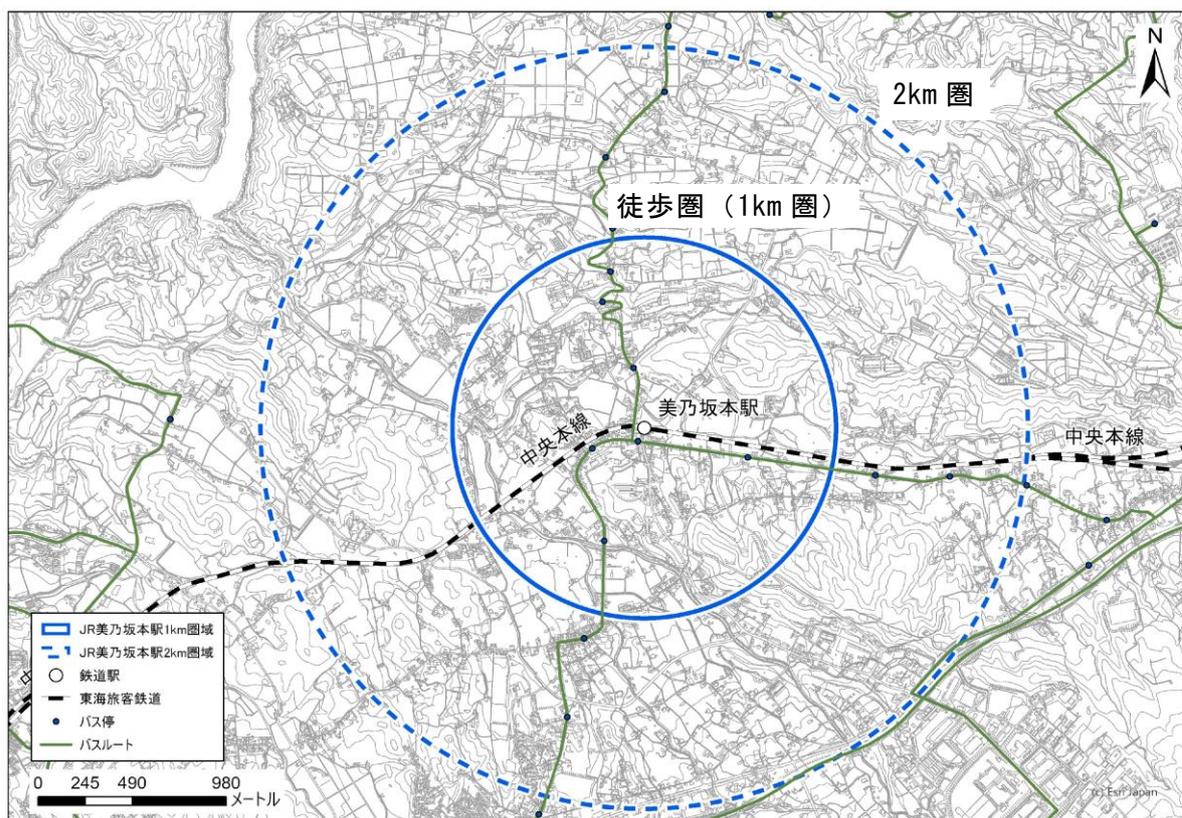
■美乃坂本駅周辺の都市公園

4. 公共交通の整備状況、利用状況

(1) 公共交通の整備状況

駅周辺地域の鉄道は、JR中央本線が運行しており、美乃坂本駅が整備されている。美乃坂本駅は名古屋駅－中津川駅の快速列車停車駅となっている。

バス路線は、北恵那交通の坂本三坂線、恵那線が美乃坂本駅に接続しており、坂本三坂線は中津川駅から美乃坂本駅を経由し、東濃運転者講習センター・東濃試験場付近の坂本三坂まで運行している路線となっている。恵那線は中津川駅から中津川市民病院を経由し、美乃坂本まで運行している路線となっている。



資料：市提供資料

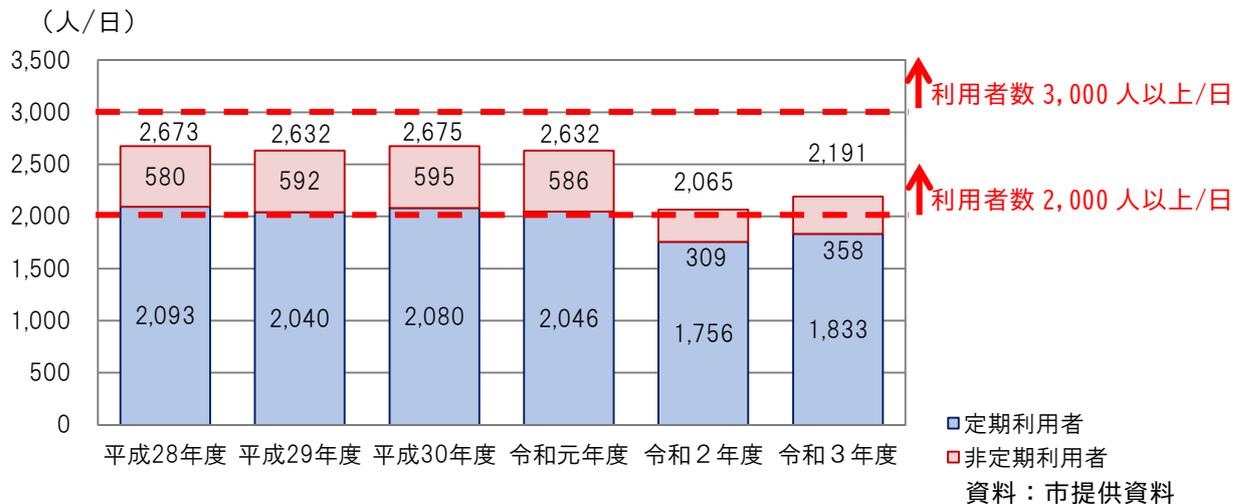
■美乃坂本駅周辺の公共交通の状況

(2) 公共交通の利用状況

令和3年度の美乃坂本駅の日当たり利用者数は、2,191人/日となっていることから、美乃坂本駅を生活関連施設として位置付ける場合はバリアフリー化が求められる可能性が考えられる。

美乃坂本駅の利用者数の推移は、令和元年度までは横ばい傾向にあったものの、令和2年度以降、大きく減少している。この要因としては、コロナ禍の影響による観光客の減少等、日常的な利用者以外の利用が大きく減少したものだと考えられる。

また、令和2年度の減少の内訳として、定期利用者、非定期利用者共に減少しており、特に非定期利用者は半減近くまで減少している。令和3年度は定期利用者、非定期利用者ともに増加しており、コロナ禍からの復調の傾向がみられる。



■美乃坂本駅の利用者数の推移

【バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標について】

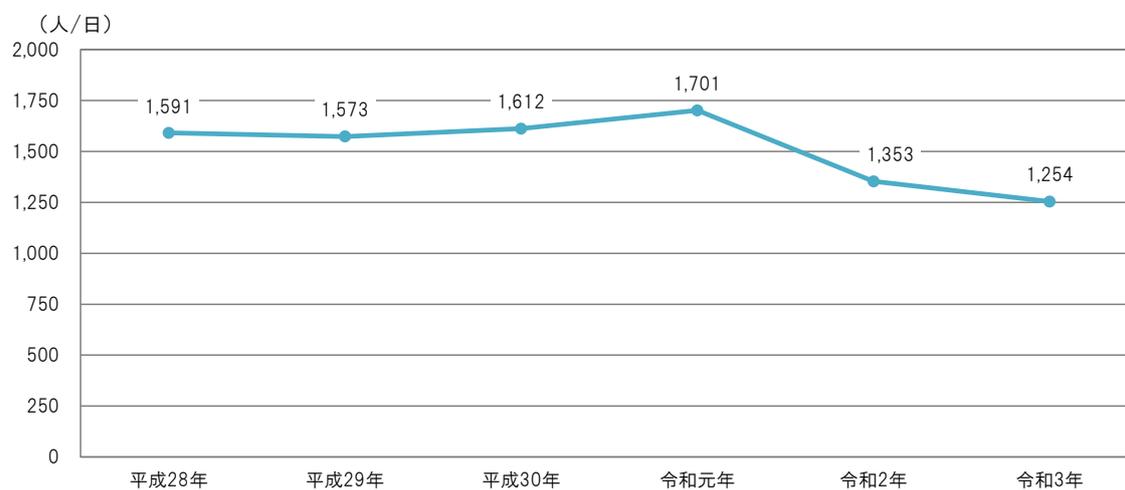
国土交通省の「バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標」では、バリアフリー基本構想の生活関連施設に位置付けられた鉄道駅について、2025年度末までの目標として利用者数（乗降客数）が2,000人以上/日の場合はバリアフリー化としている。

| | | 2025年度末までの目標 |
|-----|---------------|---|
| 鉄道駅 | 段差の解消 | ○バリアフリー指標として、案内設備（文字等及び音声による運行情報提供設備、案内用図記号による標識等）の設置を追加 ○3,000人以上/日の施設及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた2,000人以上/日の施設を原則100% |
| | 視覚障害者誘導用ブロック | ○この場合、地域の要請及び支援の下、鉄軌道駅の構造等の制約条件を踏まえ可能な限りの整備を行う |
| | 案内設備 | ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態をふまえて可能な限りバリアフリー化 ※高齢者、障害者等に迂回による過度の負担が生じないよう、大規模な鉄軌道駅については、当該駅及び周辺施設の状況や当該駅の利用状況等を踏まえ、可能な限りバリアフリールートの複数化を進める |
| | 障害者用トイレ | |
| | ホームドア・可動式ホーム柵 | ※駅施設・車両の構造等に応じて、十分に列車の走行の安全確保が図れることを確認しつつ、可能な限りプラットホームと車両乗降口の段差・隙間の縮小を進める |

資料：バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標について

市内を運行するバスである北恵那交通の利用者数の推移は、令和元年度にかけて増加傾向にあり、令和元年度は 1,701 人/日の利用があったものの、令和2年度以降、大きく減少しており、令和3年度では 1,254 人/日となっている。

美乃坂本駅の利用状況と異なる点として、令和3年度も利用者数が減少しており、令和元年度に比べ 450 人/日ほど減少している。



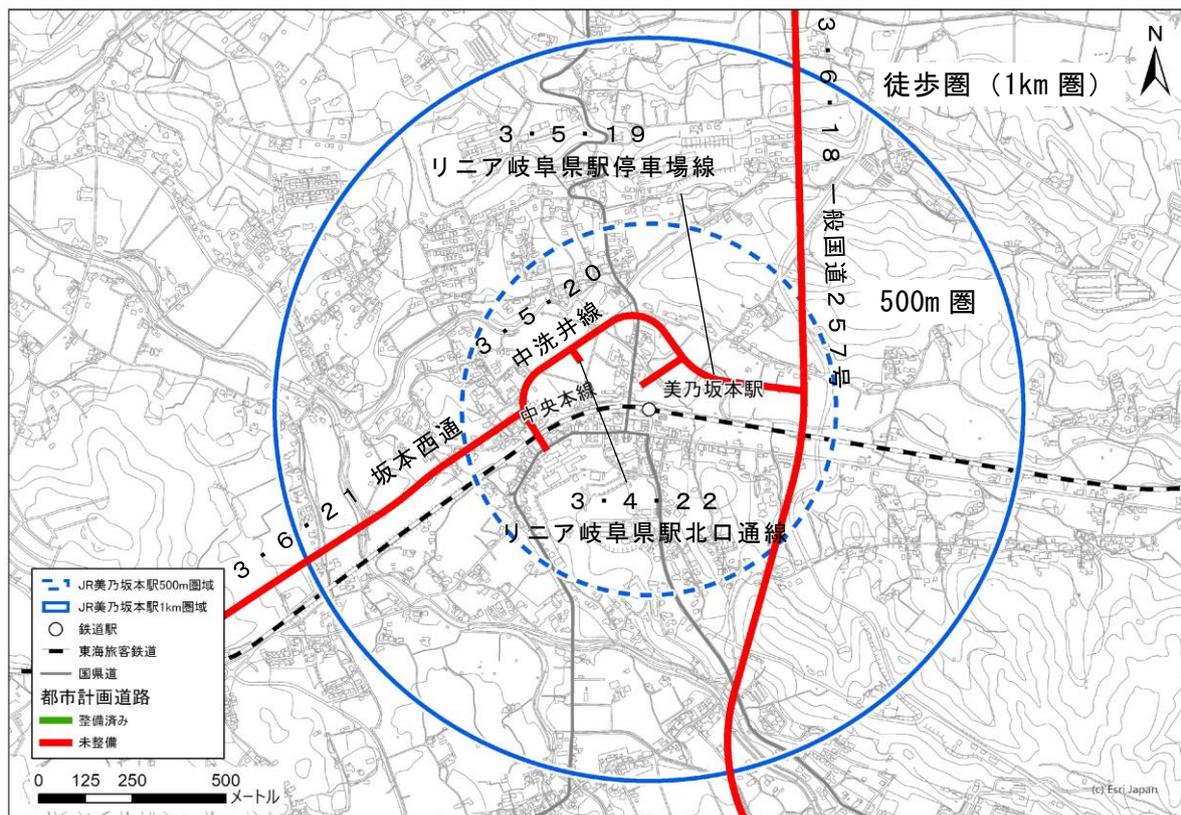
資料：市提供資料

■市内の北恵那バスの利用者数の推移

5. 道路網の整備状況、通学路の指定状況

(1) 道路網の整備状況

美乃坂本駅周辺ではリニア岐阜県駅の整備を前提とする都市計画道路を決定しており、全て未整備となっている。今後、リニア岐阜県駅が広域交通拠点としての役割を果たすためには、リニア岐阜県駅の整備に併せ、周辺の道路網の整備も求められると考える。

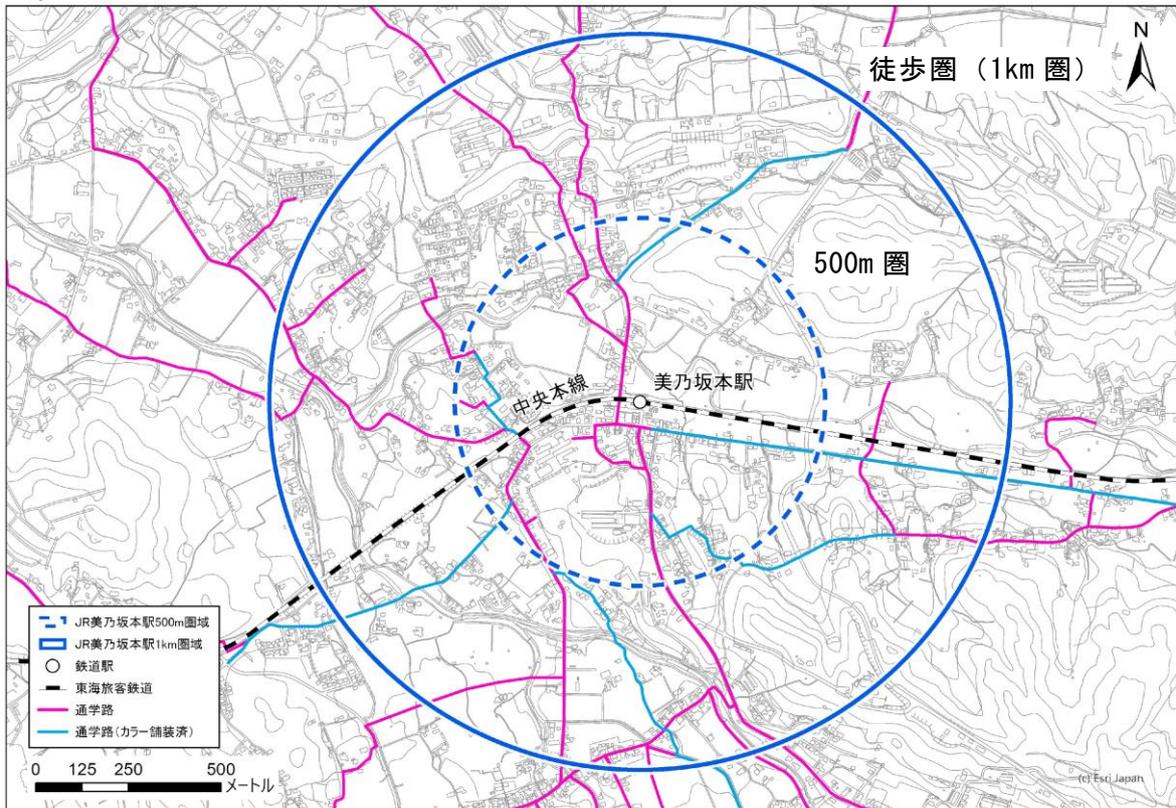


資料：都市計画基礎調査（H30）

■美乃坂本駅周辺の都市計画道路の整備状況

(2) 通学路の指定状況

美乃坂本駅南側に市立坂本小学校が立地しており、美乃坂本駅周辺に通学路を指定している。そのため、駅整備後には、美乃坂本駅周辺を通学する児童も想定される。



資料：市提供資料

■美乃坂本駅周辺の通学路の指定状況

6. 美乃坂本駅周辺の現地状況



資料：地理院地図（GSI Maps）

■現地状況図（航空写真）

表 現地状況図

| | | | |
|---|---------------------|--|--------|
| ① | | ② | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | △ (片側(途中から車道のみ)) | 歩道の有無 | × |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | ○ | 通学路の カラー舗装 の有無 | ○ |
| ③ | | ④ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | ○ (両側) | 歩道の有無 | ○ (片側) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |
| ⑤ | | ⑥ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | × | 歩道の有無 | ○ (片側) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | ○ | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |

| ⑦ | | ⑧ | |
|---|-----------------|--|---------------------|
|  | |  | |
| 歩道の有無 | × | 歩道の有無 | × |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | ○ | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |
| ⑨ | | ⑩ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | × | 歩道の有無 | △ (片側(途中から車道のみ)) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |
| ⑪ | | ⑫ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | △ (途中から車道のみ) | 歩道の有無 | ○ (片側) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |

| | | | |
|---|--------|--|--------|
| ⑬ | | ⑭ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | × | 歩道の有無 | × |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |
| ⑮ | | ⑯ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | × | 歩道の有無 | × |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | ○ |
| ⑰ | | ⑱ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | ○ (片側) | 歩道の有無 | ○ (片側) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |

| | | | |
|---|----------|--|--------|
| ⑱ | | ㉔ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | ○ (片側) | 歩道の有無 | ○ (片側) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |
| ㉑ | | ㉕ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | ○ (片側) | 歩道の有無 | ○ (片側) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | × | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |
| ㉒ | | ㉖ | |
|  | |  | |
| 歩道の有無 | ○ (片側) | 歩道の有無 | ○ (片側) |
| 通学路の カラー舗装 の有無 | ○ (標識あり) | 通学路の カラー舗装 の有無 | × |